

科目名	看護研究方法論		D2-202	担当教員名	平河 勝美、萩原 邦子、大村 優華、石原 啓之、飛田 伊都子
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第1セメスター(前半)
曜日・時限	金曜日・5限目		教室	オンライン授業	
授業概要	医療安全管理に関する研究において、その実践のための意識の変革を伴う行動化は欠かせないものである。看護の領域では研究対象となる現象により、その研究方法は多岐にわたっている。当科目では看護(医療)安全管理に関連した研究の基盤として、研究課題の設定とそのデザインや研究計画書の作成について概説する。更に、研究方法として量的研究及び質的研究についてその種類と方法を論じ、各自の研究課題に適切な研究方法を選択できるよう教授する。(オムニバス方式/全8回)				
到達目標	1) 自己の研究課題を明確にし、課題に応じた研究方法を選択して研究計画を立案できる。 2) 看護研究において量的研究が対象となる範囲の方法論、および量的データの性質や扱い方、まとめ方を理解できる。 3) 看護研究における質的アプローチについて、基本的な知識を理解できる。				
	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	4/8	看護研究の意義と動向、研究課題の設定(飛田)	看護研究の意義と動向(研究の意味、科学的研究方法とは、パラダイム、目的)、研究課題の検討[ディスカッション]		○
2	4/15	リサーチクエスチョンと研究デザイン(大村)	臨床実践の中で生じた疑問、科学的検証可能な疑問(リサーチクエスチョン: RQ)、研究デザイン[ディスカッション]		○
3	4/22	研究報告ガイドライン(大村)	研究報告の質改善を目的とした報告ガイドラインの紹介(質的研究: COREQ, 量的研究: STROBE)、論文クリティーク[ディスカッション]		○
4	4/29	量的研究へのアプローチ(大村)	研究の実際(デザイン選択、データ収集と分析、研究計画段階における留意点)[ディスカッション]		○
5	5/6	質的データへのアプローチ法(1)(平河)	「意味」の探究、ナラティブ・アプローチ、ライフストーリー・アプローチ、羅生門的アプローチ[ディスカッション]		○
6	5/13	質的データへのアプローチ法(2)(平河)	言語による抽象・捨象とカテゴリ形成、グラウンデッド・セオリー・アプローチ、論文クリティーク[ディスカッション]		○
7	5/20	質的データの収集と分析準備(平河)	質的データの収集とトランスクリプトの作成、質的データ収集時の倫理的配慮、論文クリティーク[ディスカッション]		○
8	5/27	看護研究方法のまとめ(平河、萩原、大村、石原)	クリニカル・クエスチョンからリサーチ・クエスチョンへの整理[ディスカッション]		○
キーワード		研究デザイン、研究倫理、研究計画書、量的研究、質的研究	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	看護研究:原理と方法 第2版(D.F.ポーリット著, C.T.ベック著, 近藤潤子監訳, 医学書院, 2010)			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①期末試験(レポート)(80%) [授業内容を十分に理解しているかを評価します。]、 ②授業中の討論への参加・貢献度(20%)			
授業時間外に必要な学修		修士研究として取り組む研究課題について、自分の考えを整理しておくこと。			
学生へのメッセージ		研究の基礎となる科目なので十分理解を深め、自身の研究のみでなく既存の論文評価(クリティーク)にも使えるものです。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。